

作文の部 岩手県知事賞

川学習から考える

一関市立興田小学校 六年 村上 銀河

ぼくは、今回の水生生物調査で、たくさん

のことを学んだ。その中でも、一番心に残っ

たことは、さまざまな生物の持ちようや、生

きるための工夫についてである。また、ヤマ

メのことにいってもたくさん学んだ。サケと

ヤマメのちがいは、ヤマメの持ちよう、習慣も

今回水生生物調査を行ってみて、はじめて知

った。さらに、魚は不思議な能力をもっている

たり、魚の感覚はすごいなと思ったりして

川や魚にもっと関心をもちようと思った。

次に、ヤマメの放流を行った。ヤマメは、

半分は海へ、半分は川に残るといいうことと、今

回はじめて知った。

そして、今回のことから、環境を守ることに

が大切だと分かった。学校でも、未来がより

よくあるために、環境問題を意識して、生活

するところが大切だと学んだ。そのために、一

人一人が身近なことから始めていけば、やが

てよりよい未来へつながっていくのだと思う。

例えば、<sup>森林</sup>森林の減少をおさえれば、美しい

緑を保つことができ、CO<sub>2</sub>の排出

を防ぐことで、地球温暖化を防げるなど、方

法はたくさんある。それを、小さなことから

考えていき、やがて大きなことへつながって

きたい。

また、釣りをする人などがゴミを持ち帰る

だけで、川原がきれいになる。それは、たれ

にでもいえることである。例えば、家から排

出されるおしぼりや、牛乳などは、川を汚す原

因になると、聞いたことがある。つまり、家

の浄化システムを完備すれば、川を汚すおし

ぼり。また、<sup>森林</sup>人はしきを使用すれば、<sup>森林</sup>森林の

減少をおさえられる。<sup>森林</sup>マンバツクを使用され

ば、限りある資源を大切にできる。など、考

えておくと、自分たちでできることもたくさん

あるのだ。

それに、自分から、積極的に環境ポランテ

ィに参加したり、ゴミ拾いをしたりするこ



とでも、地球の環境を守ることに、大きくこ  
うけ人するのだ。  
今からでもおそくない。世界中の人に地球  
を守るため、小さな努力をしてほしい。もち  
ろ人自分も。

今起こっている環境問題を防ぐことを、た  
れもが意識し、行動することが第一歩なので  
ある。よりよい地球をつくるため、小さなこ  
とから始め、それを大きなことへとつなげて  
いきたいと思う。